

## 旬の味覚 ひがしどおり新そば街道まつり 開催



たべもの工房来美里（大利）



手打ちば長寿庵（砂子又）

10月18日・19日の2日間「ひがしどおり新そば街道まつり」が、大利と砂子又の2会場で開催されました。

会場では、挽きたて・打ちたての十割そばが昔ながらのダシで提供され、村内外からの来場者は、旬の新そばを堪能しました。会場からは「2会場どちらも食べた！」という声が多数聞こえました。

また、十割そばの他にも、そば餅や採れたて野菜等の物販も行われ、地元の方たちが丹精こめて作った郷土の味を求める人でこちらも大賑わいでした。

## 村特産品を全国へ！ 特産品PRイベントに参加



まるっとよいどころ祭り



あおもり鍋自慢！



うまい森青いもり



下北半島観光物産フェアin仙台

青森県内外で開催された各種イベントに参加し、東通村の特産品をPRしました。

10月11・12日の2日間、青森公立大学で開催された「青森まるっとよいどころ祭り」にて、東通牛串やホタテの実演販売をしました。インターンシップで東通村を訪れた学生も、応援に駆け付けてくれました。

10月19日、南部町で開催された「あおもり鍋自慢！」にて、東通牛のすじ肉や希少部位を使った絶品牛鍋を販売しました。東通牛のコクのある出汁に、来場者からは絶賛の声が寄せられました。

11月1日・2日の2日間、さくら野百貨店弘前店で開催された「うまい森青いもり」にて、ホタテや旬の野菜を販売しました。また来場者アンケートを実施したところ、PRイベントの参加により、東通村の知名度が高まっていることが分かりました。

11月3～5日の3日間、J R仙台駅で開催された「下北半島観光物産フェア in 仙台」にて、東通牛ビフテキジャーキーやブルーベリージュースを販売しました。行き交う旅行者は、村特産品についつい足を止めていました。村では今後も、PRにより「東通村ファン」の輪を広げてまいります。

## 目名神楽会 「第67回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」で踊獅子を披露



岩手県知事から感謝状を受け取る目名神楽会の奥島会長



目名神楽会が披露した踊獅子



10月26日、岩手県盛岡市民文化ホールで開催された「第67回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」に、目名神楽会が出演し『おどりし踊獅子』を披露しました。

この大会は、北海道・東北地区の民俗芸能が一堂に集まり、広く一般に公開し、その保存伝承を図ることを目的として、昭和34年から各道県持ち回りで開催されています。

今回披露した踊獅子は、盛岡七軒丁に住む藩お抱えの芸能集団の長である御駒太夫京助より伝授された芸能です。目名神楽会は「踊獅子伝承のルーツである盛岡市で披露できたことは、大変意義深いことです」と振り返りました。